

「住民参加」啓発が鍵

大阪で広域 NPO の役割指摘



大阪府を含む広域行政において住民自治やNPOの在り方を探るシンポジウム(大阪NPOセンター主催)が八日、大阪市福島区の大阪NPO広域行政における住民自治やNPOの在り方を探ったシンポジウム

複数の府県を含む広域行政において住民自治やNPOの在り方を探るシンポジウム(大阪NPOセンター主催)が八日、大阪市福島区の大阪NPO広域行政における住民自治やNPOの在り方を探ったシンポジウム

OPラザで開かれた。パネリストからは、NPOなどの専門家や住民の積極的な参加を促すコーディネートーターにならないなどの意見が出た。

国の新しい国土形成計画の中で複数府県を含む広域行政区画が計画される中、関西でも分権によって地域を活性化しようとする道州制や関西広域連合といった広域行政が検討されており、同センターも新たな市民参画のスタイルを考えようとシンポジウムを企画した。

吹田市役所(同市泉町一丁目)地下の職員食堂に、十一日の両日、戦時中の食事を体験して平和の大切さを考えてもらおうと期間限定のメニュー「すいとん」が登場する。

十五日の終戦記念日前に「悲惨な戦争の記憶を風化させないようなメニューを」との市人権平和室の依頼を受け、食堂を運営する吹田市水産物商業協同組合が企画した。

すいとんは、小麦粉を水でこねて団子状にし、しょう油で味付けした汁で煮立てたもの。日常生活物資が不足し、限られた配給品で飢えをしのいでいた戦時下で腹持ちの良い節米料理として考案されたという。調理を担当した五十嵐正さん(同)は「戦時中の暮らしについて母から話を聞き、心

解決策の一例として、同センターの染川明義監事は自身の経験を踏まえ「自分がまちづくりに参加できるということ無理

大阪府教委と堺市教委は九日、二〇〇七年度大阪府・堺市公立学校教員採用試験の一次選考結果を発表した。一万八百六十四人(前年度比百八十一人増)が受験し、合格者は三千百十九人(同二百九十一人減)。競争倍率は三・五倍(前年度は三・一倍)だった。



解決策の一例として、同センターの染川明義監事は自身の経験を踏まえ「自分がまちづくりに参加できるということ無理

にかかわらず結果通知書を郵送。合格者の受験番号は大阪府、堺市のホームページに掲載した。

解してもらえば、自然に参加者は増える。そのために「入れ知恵」する役が必要」とNPOの必要性を強調した。

3119人が
1次選考合格

大阪府・堺市公立
学校教員採用試験

受験者には同日、合否にかかわらず結果通知書を郵送。合格者の受験番号は大阪府、堺市のホームページに掲載した。